



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月29日

上場会社名 兼松エレクトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 8096 URL <https://www.kel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 渡辺 亮

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 岡崎 恭弘

TEL 03-5250-6823

四半期報告書提出予定日 2021年11月4日

配当支払開始予定日

2021年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	34,064	8.2	6,074	21.3	6,128	19.3	4,187	20.4
2021年3月期第2四半期	31,478	10.4	5,009	2.2	5,136	0.2	3,478	0.5

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 4,150百万円 (18.4%) 2021年3月期第2四半期 3,506百万円 (1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	146.36	
2021年3月期第2四半期	121.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	78,006	58,590	75.1
2021年3月期	75,164	56,415	75.0

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 58,544百万円 2021年3月期 56,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		65.00		70.00	135.00
2022年3月期		75.00			
2022年3月期(予想)				70.00	145.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	5.3	12,250	12.7	12,300	11.4	8,300	12.4	290.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	28,633,952 株	2021年3月期	28,633,952 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	20,896 株	2021年3月期	28,039 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	28,608,752 株	2021年3月期2Q	28,601,160 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、国内におけるワクチン接種の促進や各種政策の効果もあり一部持ち直しの動きが続いている一方で、感染力の強い変異株への置き換わりが進み、都市部においては7月から9月にかけて緊急事態宣言が発出されるなど、社会経済活動の制限が余儀なくされ、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

国内IT業界におきましては、緩やかながら回復の動きが見られ、コロナ禍におけるニューノーマルが定着し、ライフスタイルやワークスタイルの変化により企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)は一層加速し、リモートワークなどの戦略的なIT投資に加え、人手不足を背景に業務効率化や自動化を目的としたIT投資は堅調に推移しました。

このような環境の中、当社グループは引き続き、培ってきた技術力をベースとしたインフラ構築ビジネスの展開に加え、ビジネスの基盤である「仮想化」「セキュリティ」「ネットワーク」などのソリューションビジネスおよびお客様のリモートワーク環境の整備などに注力してまいりました。

具体的には、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の一環として堅調な仮想デスクトップ(VDI)環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K(スリーケー)※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図りました。また、当社の中長期的な企業成長に向け、顧客基盤や事業領域の拡大・深耕を図ることを目的に、2021年5月にキーウェアソリューションズ株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、340億6千4百万円、前年同期比25億8千5百万円(前年同期比8.2%増)の増収となりました。営業利益は、60億7千4百万円となり、前年同期比10億6千5百万円(前年同期比21.3%増)の増益、経常利益は、61億2千8百万円となり、前年同期比9億9千1百万円(前年同期比19.3%増)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、41億8千7百万円となり、前年同期比7億8百万円(前年同期比20.4%増)の増益となり、中間期における過去最高業績を更新しました。

※1 3K(スリーケー)：「KEL Briefing Center (KBC)」、「KEL Custom Cloud (KCC)」、「KEL Managed Service (KMS)」から成るサービスビジネス群

セグメントの状況

(システム事業)

システム事業の売上高は、241億5千6百万円となり、ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比20億6千7百万円(前年同期比9.4%増)の増収となりました。

(サービス・サポート事業)

サービス・サポート事業の売上高は、99億7百万円となり、システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比5億1千7百万円(前年同期比5.5%増)の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.6%増加し、714億8千7百万円となりました。これは、棚卸資産が10億5千1百万円、受取手形及び売掛金が6億1千1百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.4%増加し、65億1千8百万円となりました。これは、投資有価証券が4億7千9百万円増加したことなどによります。

(負債の部)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、169億7千4百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が6億9千万円増加したことなどによります。

固定負債は、概ね前連結会計年度末並みの24億4千万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、585億9千万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益41億8千7百万円の計上および配当金20億2百万円の支払いにより、利益剰余金が21億8千4百万円増加したことなどによります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の75.0%から75.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、直近の業績等を勘案し、2021年4月28日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年10月29日)公表いたしました「連結業績予想の修正および剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,877,658	47,479,247
受取手形及び売掛金	16,218,110	16,829,822
リース投資資産	9,251	6,608
棚卸資産	1,997,085	3,048,584
その他	3,878,972	4,123,111
流動資産合計	68,981,078	71,487,375
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,098,688	1,058,483
その他（純額）	962,834	892,213
有形固定資産合計	2,061,523	1,950,696
無形固定資産		
その他	843,991	820,423
無形固定資産合計	843,991	820,423
投資その他の資産		
投資有価証券	913,538	1,392,612
繰延税金資産	1,342,731	1,335,693
その他	1,029,677	1,026,981
貸倒引当金	△7,644	△7,644
投資その他の資産合計	3,278,303	3,747,644
固定資産合計	6,183,817	6,518,764
資産合計	75,164,896	78,006,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,732,807	8,423,252
未払法人税等	1,829,831	1,838,415
前受収益	3,224,808	—
契約負債	—	3,582,299
賞与引当金	1,125,714	1,075,632
役員賞与引当金	142,700	64,467
その他	2,247,526	1,990,896
流動負債合計	16,303,388	16,974,964
固定負債		
退職給付に係る負債	1,837,932	1,870,340
資産除去債務	589,330	551,986
その他	18,867	17,890
固定負債合計	2,446,130	2,440,216
負債合計	18,749,518	19,415,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,031,257	9,031,257
資本剰余金	7,138,453	7,159,524
利益剰余金	39,802,387	41,987,136
自己株式	△26,170	△19,844
株主資本合計	55,945,928	58,158,075
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220,455	221,576
繰延ヘッジ損益	△15	25
為替換算調整勘定	79,125	83,800
退職給付に係る調整累計額	115,552	80,714
その他の包括利益累計額合計	415,116	386,117
非支配株主持分	54,332	46,766
純資産合計	56,415,378	58,590,959
負債純資産合計	75,164,896	78,006,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	31,478,852	34,064,088
売上原価	21,950,528	23,437,132
売上総利益	9,528,323	10,626,956
販売費及び一般管理費	4,518,545	4,552,161
営業利益	5,009,778	6,074,795
営業外収益		
受取利息	2,737	2,755
受取配当金	10,108	13,260
受取保険金	100,000	—
助成金収入	9,748	19,069
受取立退料	—	15,649
雑収入	5,177	4,572
営業外収益合計	127,771	55,306
営業外費用		
支払利息	46	0
雑支出	1,015	1,618
営業外費用合計	1,062	1,618
経常利益	5,136,487	6,128,483
特別利益		
固定資産売却益	—	871
ゴルフ会員権売却益	2,170	4,417
特別利益合計	2,170	5,289
特別損失		
固定資産除却損	273	2,985
投資有価証券売却損	450	1,113
特別損失合計	724	4,099
税金等調整前四半期純利益	5,137,934	6,129,673
法人税、住民税及び事業税	1,472,906	1,924,664
法人税等調整額	186,301	21,871
法人税等合計	1,659,208	1,946,535
四半期純利益	3,478,726	4,183,137
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	393	△4,025
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,478,332	4,187,163

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	3,478,726	4,183,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,175	1,120
繰延ヘッジ損益	321	41
為替換算調整勘定	△2,774	1,135
退職給付に係る調整額	△12,145	△34,837
その他の包括利益合計	27,576	△32,539
四半期包括利益	3,506,303	4,150,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,505,914	4,158,163
非支配株主に係る四半期包括利益	388	△7,565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,137,934	6,129,673
減価償却費	296,367	357,450
賞与引当金の増減額(△は減少)	△157,992	△50,082
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,756	32,475
受取利息及び受取配当金	△12,845	△16,016
支払利息	46	0
固定資産売却損益(△は益)	—	△871
固定資産除却損	273	2,985
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△2,170	△4,417
投資有価証券売却損益(△は益)	450	1,113
売上債権の増減額(△は増加)	△92,520	△613,129
棚卸資産の増減額(△は増加)	△247,003	△1,051,886
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△65,774	△142,685
仕入債務の増減額(△は減少)	583,106	684,111
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△175,874	89,839
その他	△218,157	△118,065
小計	5,056,596	5,300,496
利息及び配当金の受取額	12,850	16,010
利息の支払額	△46	△0
保険金の受取額	100,000	—
法人税等の支払額	△2,067,927	△1,929,527
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,101,472	3,386,979
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△5,040	△480,209
投資有価証券の売却による収入	10	1,136
有形及び無形固定資産の取得による支出	△438,164	△213,483
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	871
差入保証金の差入による支出	△80,724	△82,129
差入保証金の回収による収入	6,982	12,071
資産除去債務の履行による支出	—	△13,024
投資その他の資産の増減額(△は増加)	3,576	△9,803
その他	574	△975
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512,787	△785,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,001,819	△2,002,413
その他	△1,382	△861
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,003,201	△2,003,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,988	3,431
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	582,494	601,589
現金及び現金同等物の期首残高	43,010,322	46,877,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,592,816	47,479,247

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受収益」は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」として表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っております。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	22,088,854	9,389,998	31,478,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68,440	164,534	232,974
計	22,157,294	9,554,533	31,711,827
セグメント利益	3,169,055	1,834,292	5,003,348

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	5,003,348
セグメント間取引消去	6,430
四半期連結損益計算書の営業利益	5,009,778

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	システム事業 (千円)	サービス・ サポート事業 (千円)	計 (千円)
売上高			
外部顧客への売上高	24,156,480	9,907,607	34,064,088
セグメント間の内部売上高 又は振替高	74,747	163,293	238,041
計	24,231,228	10,070,901	34,302,130
セグメント利益	3,922,693	2,089,191	6,011,885

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利 益	金 額 (千円)
報告セグメント計	6,011,885
セグメント間取引消去	62,910
四半期連結損益計算書の営業利益	6,074,795

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2022年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト (日本基準)

- 売上高、営業利益、経常利益ともに増収増益。
- 中間期における過去最高業績を更新。

		(%表示は対前年同四半期増減率)
◇ 売上高	34,064 百万円	8.2 %
◇ 営業利益	6,074 百万円	21.3 %
◇ 経常利益	6,128 百万円	19.3 %
◇ 親会社株主に帰属する四半期純利益	4,187 百万円	20.4 %

損益の状況						
(単位: 百万円)	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	前年同期比	増減率(%)	2022/3期 通期 業績予想	進捗率(%)
	売上高	34,064	31,478	2,585	8.2	69,000
売上総利益	10,626	9,528	1,098	11.5	-	-
販売費及び一般管理費	△ 4,552	△ 4,518	△ 33	0.7	-	-
営業利益	6,074	5,009	1,065	21.3	12,250	49.6
営業外収益	55	127	△ 72	△ 56.7	-	-
営業外費用	△ 1	△ 1	0	52.3	-	-
経常利益	6,128	5,136	991	19.3	12,300	49.8
特別利益	5	2	3	143.6	-	-
特別損失	△ 4	△ 0	△ 3	466.2	-	-
税金等調整前四半期純利益	6,129	5,137	991	19.3	-	-
法人税等	△ 1,946	△ 1,659	△ 287	17.3	-	-
四半期純利益	4,183	3,478	704	20.2	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,187	3,478	708	20.4	8,300	50.4

■ 売上高
売上高は、340億6千4百万円となり、働き方改革および新型コロナウイルス感染症対策の環境として堅調な仮想デスクトップ（VDI）環境の構築やゼロトラストネットワーク時代に沿ったセキュリティソリューションに加え、3K（スリーケー）※1を中心としたサービスビジネスの更なる拡販を図ったことで、前年同期比25億8千5百万円（前年同期比8.2%増）の増収。

■ 利益
営業利益は、60億7千4百万円となり、前年同期比10億6千5百万円（前年同期比21.3%増）の増益。経常利益は、61億2千8百万円となり、前年同期比9億9千1百万円（前年同期比19.3%増）の増益。親会社株主に帰属する四半期純利益は、41億8千7百万円となり、前年同期比7億8百万円（前年同期比20.4%増）の増益。

※1 3K（スリーケー）：「KEL Briefing Center（KBC）」、「KEL Custom Cloud（KCC）」、「KEL Managed Service（KMS）」から成るサービスビジネス群

1株当たり四半期純利益（円）	146.36	121.62	24.74	20.3
----------------	--------	--------	-------	------

セグメント情報						
(単位: 百万円)	売上高			セグメント利益		
	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	前年同期比	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	前年同期比
システム事業	24,231	22,157	2,073	3,922	3,169	753
サービス・サポート事業	10,070	9,554	516	2,089	1,834	254
計	34,302	31,711	2,590	6,011	5,003	1,008
その他（含む調整額）	△ 238	△ 232	△ 5	62	6	56
合計	34,064	31,478	2,585	6,074	5,009	1,065

■ システム事業
ストレージ関連事業やネットワークセキュリティ関連事業が堅調に推移したことなどにより、前年同期比20億7千3百万円（前年同期比9.4%増）の増収。

■ サービス・サポート事業
システム運用ビジネス関連およびクラウドサービス関連の売上が増加したことなどにより、前年同期比5億1千6百万円（前年同期比5.4%増）の増収。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位: 百万円)	2021/9末	2021/3末	前期末比	増減率(%)
総資産	78,006	75,164	2,841	3.8
流動資産	71,487	68,981	2,506	3.6
固定資産	6,518	6,183	334	5.4
負債	19,415	18,749	665	3.6
流動負債	16,974	16,303	671	4.1
固定負債	2,440	2,446	△ 5	△ 0.2
純資産	58,590	56,415	2,175	3.9
自己資本 (注1)	58,544	56,361	2,183	3.9
自己資本比率 (注2)	75.1%	75.0%	0.1pt改善	-

■ 資産
流動資産は、棚卸資産が10億5千1百万円、受取手形及び売掛金が6億1千1百万円増加したことなどにより、前期末比25億6百万円（前期末比3.6%増）の増加。
固定資産は、投資有価証券が4億7千9百万円増加したことなどにより、前期末比3億3千4百万円（前期末比5.4%増）の増加。

■ 負債
流動負債は、支払手形及び買掛金が6億9千万円増加したことなどにより、前期末比6億7千1百万円（前期末比4.1%増）の増加。
固定負債は、概ね前期末並み（前期末比0.2%減）。

■ 純資産
純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益41億8千7百万円の計上による増加と、配当金20億2百万円の支払いによる減少などがあり、当第2四半期では、前期末比21億7千5百万円（前期末比3.9%増）の増加。
この結果、自己資本比率は75.1%となり、前期末比0.1ptの改善。

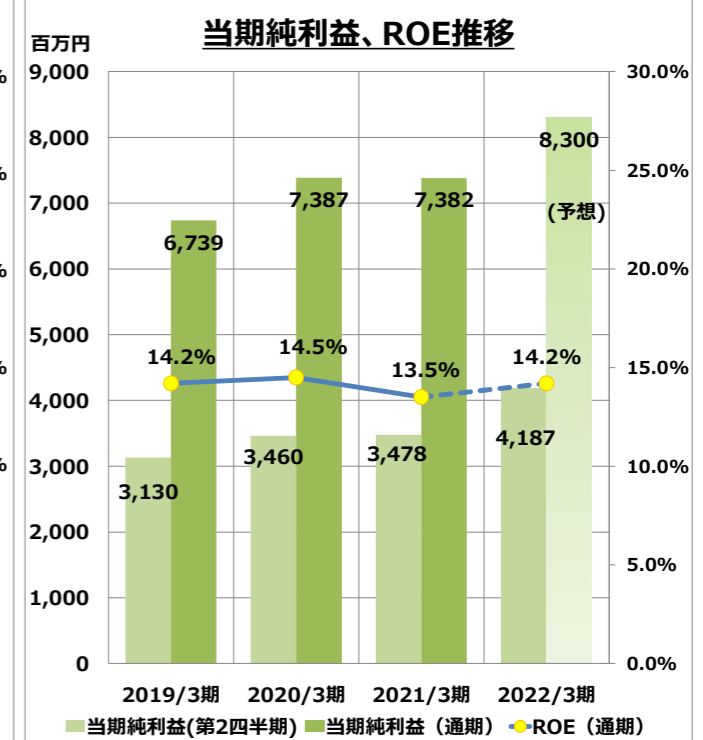
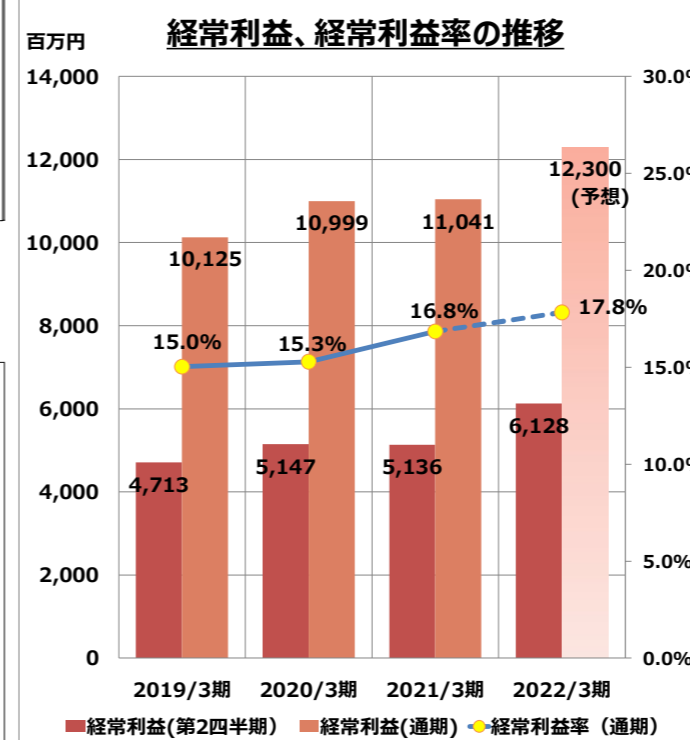
(注1)自己資本=純資産の「株主資本合計」+「その他の包括利益累計額合計」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産

キャッシュ・フローの状況			配当の状況	
(単位: 百万円)	2022/3期 第2四半期	2021/3期 第2四半期	2022/3期	2021/3期
営業活動によるCF	3,386	3,101	75円	65円
投資活動によるCF	△ 785	△ 512	70円(予想)	70円
フリーキャッシュ・フロー	2,601	2,588	145円(予想)	135円
財務活動によるCF	△ 2,003	△ 2,003	自己資本(百万円)	56,361
現金及び現金同等物の増減額	601	582	配当性向(%)	52.3
現金及び現金同等物の期末残高	47,479	43,592		

■ 営業活動によるCF
営業収入の積上げ、営業債権の回収などにより、33億8千6百万円のキャッシュ・イン。

■ 投資活動によるCF
投資有価証券、有形及び無形固定資産の取得などにより、7億8千5百万円のキャッシュ・アウト。

■ 財務活動によるCF
配当金の支払いなどにより、20億3百万円のキャッシュ・アウト。



*本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。